

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	相模原北公園、道保川公園、相模原麻溝公園、相模大野中央公園
指定管理者名	公益財団法人相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	<p>◆相模原北公園(平成3年供用開始)： 北部地域における公園緑地の拠点として整備されている。公園内に北総合体育館、多目的広場アジサイ園などがある。</p> <p>◆道保川公園(昭和59年供用開始)： 相模原近郊緑地保全地区内に位置し、良好な自然環境を有する風致公園である。自然のなかで、じかに野鳥や植物の観察などを体験しながら、自然への認識を深めることができる。野鳥観察ゾーン・山野草観察ゾーン・森林生態観察ゾーン・水生動植物観察ゾーン等がある。</p> <p>◆相模原麻溝公園(昭和60年供用開始)： 北側に県立相模原公園、西側に女子美術大学が隣接し、公園内を横浜水道道が通っている。大花壇、センター広場、芝生広場、グリーンタワー相模原、フィールドアスレチック、多目的広場がある。一部首都圏近郊緑地保全地区指定区域に含まれる。総合公園。</p> <p>◆相模大野中央公園(平成2年供用開始)： 小田急線相模大野駅周辺地区に位置しており、買物や、通勤、通学などで中心市街地に集う人々や地域住民の憩いの場を目指している。近隣公園。</p>
施設所管課	公園課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ボランティア参加者数(人)	2,936	3,004	3,155				

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	成果指標であるボランティアの登録人数および活動回数については、目標を大きく上回り達成できたことは、高く評価できる。登録人数については昨年度よりも減少しており、公園運営を円滑に進めていくためにボランティアの力は不可欠なため、新規ボランティアの確保とともに、活動しやすい環境づくり等、継続してボランティア活動に参加できる仕組みづくりを構築することに期待する。

指標 1	
指標名（単位）	ボランティアの全体登録者数(人)
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ボランティア全体登録数目標値（人）	234	250	230	/	/	/	/
ボランティア全体登録数実績（人）	292	295	266	/	/	/	/
達成度（%）	124.8%	118.0%	115.7%	/	/	/	/

指標 2	
指標名（単位）	緑化活動の回数(回)
指標式と指標の説明	達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動回数目標値（単位）	/	/	50	/	/	/	/
活動回数実績(回)	/	/	164	/	/	/	/
達成度(%)	/	/	328.0%	/	/	/	/

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	募集定員を超える応募があった事業も多く、公園の特性を生かし、ニーズにあった事業が実施されていることは評価できる。引き続き利用者のニーズに合致した事業を計画・実施していただきたい。

市が指定する事業		相模原北公園		
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価	
アジサイローズフェア	6月	アジサイ、バラをテーマにし、緑化普及を目的としたイベント。年1回(2日間)の開催。9,148人が参加しました。	◎	
オータムフェア	10月	紅葉などの公園見どころを紹介するとともに、緑化普及を目的としたイベント。年1回の開催。1,900人が参加しました。	◎	
ボランティア育成事業	通年	園内の除草等をはじめとする植栽管理を市民協働により実施。延べ参加人数1,512人	○	

自主事業		相模原北公園		
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価	
多肉植物寄せ植え教室	6月、10月	植物の寄せ植えを行うことにより緑化普及に関心をもってもらうことを目的とする。年2回実施(同種教室他1回) 参加者数合計31名	◎	
ラベンダースティック作り教室	6月	公園内ラベンダー残渣を活用し、緑化普及とともに公園知名度向上を目的とする。年1回実施 参加者数16名	◎	
ノルディックウォーキング教室	10月	健康増進及び公園知名度向上を目的とする。年1回実施 参加者数18名	○	
体験ボランティア	11月	ボランティアの拡大、活性化を目的とする。年1回実施 参加者数10名	◎	
犬のしつけとマナーアップ教室	12月	犬のしつけを学ぶとともに、公園利用のマナーアップを目的とする。年1回実施 参加者数4組	○	
公園スタンプラリー	11~1月	冬季の来園者数増加及び市内各公園と連携し知名度向上を目的とする。年1回実施 スタンプ押印数143名	◎	

市が指定する事業		道保川公園		
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価	
ホタル観賞会	6月	ホタルを鑑賞することにより自然に親しむほか、公園の知名度向上を目的としたイベント。年1回開催。6,268人が参加しました。	○	
ボランティア育成事業	通年	園内の除草等をはじめとする植栽管理を市民協働により実施。延べ参加人数87人	△	

自主事業		道保川公園		
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価	
自然の観察会	5月	花、樹木及鳥などの自然に親しむことにより、環境保全の意識付けを目的とする。年2回実施(1回は雨天により中止) 参加者数7名	○	

市が指定する事業		相模原麻溝公園	
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
クレマチスフェア	5月	クレマチスをテーマにし、緑化普及を目的としたイベント。年1回(2日間)の開催。33,000人が参加しました。	○
アジサイフェア	6月	アジサイをテーマにし、緑化普及を目的としたイベント。年1回の開催。18,000人が参加しました。	○
オータムフェア	10月	紅葉などの公園見どころを紹介するとともに、緑化普及を目的としたイベント。年1回の開催。20,000人が参加しました。	○
ボランティア育成事業	通年	園内の除草等をはじめとする植栽管理を市民協働により実施。延べ参加人数1,235人	○

自主事業		相模原麻溝公園	
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ラベンダースティック作り教室	6月	公園内ラベンダー残渣を活用し、緑化普及とともに公園知名度向上を目的とする。年1回実施 参加者数20名	◎
寄せ植え教室	10月	植物の寄せ植えを行うことにより緑化普及に関心をもってもらうことを目的とする。年1回実施(同種教室他1回) 参加者数20名	◎
体験ボランティア	11月	ボランティアの拡大、活性化を目的とする。年1回実施 参加者数2名	△
矢澤先生の園芸講座	6,7,8,9,10月	著名な専門家を招き、より専門的な園芸講座を実施することにより緑化普及やボランティアの普及啓発を目的とする。年5回実施 延べ参加者数168名	◎
フリーマーケット	10月	市民間のリユースを促進することで、環境への関心を深めることを目的とする。年1回実施 参加者数10組	○
初日の出観賞会	1月	麻溝公園の塔の上から初日の出を鑑賞し、自然に親しむ心の醸成及びインスタスポットの提案を目的とする。年1回実施 参加者数53組	○
公園スタンプラリー	11~1月	冬季の来園者数増加及び市内各公園と連携し知名度向上を目的とする。年1回実施 スタンプ押印数168名	◎

市が指定する事業		相模大野中央公園	
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

自主事業		相模大野中央公園	
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
寄せ植え教室	6月	季節の花を使い長く楽しめる寄せ植えを実施することにより緑化普及啓発を目的とする。年1回実施(同種寄せ植え教室は他2回) 参加者数16名	◎
アジサイ挿し穂教室	6月	市の花であるアジサイの育成方法を学ぶことで、緑化普及啓発となることやアジサイが有名な相模原北公園や相模原麻溝公園の知名度向上を目的とする。年1回実施 参加者数15名	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	全体的な満足度及びスタッフの対応等、高い評価を得ていることは、日頃の指定管理者の努力の成果だと思われる。なお、今回から「普通」という項目が追加されている。今後は、「普通」と回答した方がより満足していただけるよう努力していただきたい。

利用者満足度調査	※実績値は4施設分の平均値
調査手法/サンプル数	聞き取り等によるアンケート集計/年2回/サンプル数 年間600
目標値の基準	施設を利用した感想として「満足」、「やや満足」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0				
実績値 (%)	91.0	96.2	95.5				
達成度 (%)	101.1%	106.8%	106.1%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	管理事務所に意見箱を設置し、自由なご意見を投函することを可能とした。当事者が回答を望む場合については、掲示板に回答を一定期間掲示している。
ホームページの問合せ	通年	24時間、365日受け付けることが可能となっている。来園を検討されている方や対面または電話などによるご意見が難しい利用者の意見を伺うことができる。ご意見に関してはEメールにより都度回答をしている。
事業毎のアンケート	事業都度	自主事業を実施した際、利用者ニーズを図るために実施している。ニーズを反映し事業を実施することで、参加率の向上を図っている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	施設の収支としては、本体事業収支は赤字、全体収支は黒字であり、団体本体の経営状況については、特段の課題は無いことから、A評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入 (a)		189,562	189,556	186,546
	指定管理料	189,562	189,556	186,546
	利用料金収入	0	0	0
	その他の収入	0	0	0
支出 (b)		195,008	194,041	190,929
	人件費	82,060	83,253	78,592
	本社管理経費	11,197	10,882	8,961
	その他の支出	101,751	99,906	103,376
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		-5,446	-4,485	-4,383
自主事業収入 (d)		12,967	12,451	12,958
自主事業支出 (e)		2,949	2,144	2,409
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		10,018	10,307	10,549
全体収支 【(c)+(f)】		4,572	5,822	6,166
備考	公社は税抜き会計を行っているため、収支の額については税込みを想定した額となっています。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和2年9月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	加点事由有
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	相模原北公園や相模原麻溝公園といった、草花を鑑賞しに多くの方が来園する公園において、草花に関して専門家とアドバイス契約を締結し、草花の管理運営に生かすことで、多くの方が来園し、満足していただいていることは評価できる。	

8 指定管理者の自己評価

グループ全体として、指定事業であるフェアの実施のほか、寄せ植え教室の開催等の事業の実施などにより積極的に緑化普及に努めた。このほか健康増進の観点からノルディックウォーキング教室の実施や犬のしつけ教室の開催、市民交流、地域連携としての近隣施設クリーン作戦へ参加、ボランティア普及啓発となる体験ボランティア事業の実施などに努めた。

保守点検や清掃業務についても計画どおりに実施し、とりわけ、樹木などは、利用者に危険が及ぶ恐れがある箇所を積極的に剪定し、利用者の安全・安心の確保に努めた。また、ボランティア団体とも年間を通じ、草花や樹木の維持管理を協働しながら実施し、利用者がより楽しむことができ、魅力ある公園の管理運営を実施することができた。この結果として、満足度調査の結果は、目標値の90%を超える高い評価を得ている。

収支状況についても、執行残が見込まれた人件費や本社管理経費の予算を流用し、修繕や樹木剪定等の予算に充当するなど、積極的な利益還元に努めた。

9 所管課意見

計画的な保守点検や清掃業務を行うことで、安全で安心できるきれいな公園を保ち、また、ボランティア団体と協働し、魅力ある公園の管理運営をすることで、来場される方の多くを満足させている点については、大いに評価できる。

今後も、利用者のニーズを捉え、適切な管理運営をすることで、利用者へ憩いの場を提供できるよう尽力していただきたい。

10 選考委員会意見

・モニタリングの評価については、方法を変えたことによって、大変わかりやすくなった半面、利用満足度の評価等、適切に評価されない部分もあると思われる。評価方法については、市として検討していただきたい。

・相模原北公園においてはアジサイ等の花で認知度があり、相模原麻溝公園については、総合公園として、多くの方に利用していただいている。引き続き、より良い公園運営を期待している。

・S評価を得る程、良い管理運営をしていただいている。今後については、公園の魅力をより発信していく等、公園の情報提供を努力していただきたい。

